

時事通信社 iJAMP

iJAMP記事

◎ 県有施設すべてにＬＥＤ照明＝長野県

17/02/14 07:30 KP008

長野県は２０１８年度以降、すべての県有施設に発光ダイオード（ＬＥＤ）照明を順次導入する。ＬＥＤ灯の省エネ効果によって電気代を抑え、二酸化炭素（ＣＯ２）の排出量を削減することで環境負荷を軽減する狙い。県有施設すべてでＬＥＤ化を進めるのは全国的にも珍しいという。

対象になるのは３２１施設。効率的にＬＥＤ化を進めるための調査費用として、１７年度当初予算案に約１０００万円を計上する。

ＬＥＤ化は、１７～２２年度に、４期に分けて実施する。１期目の１７～１９年度は、県警関係の１２１施設が対象。１７年度はプロポーザルで選定した事業者がＬＥＤ化のための調査を実施し、１８～１９年度に交換を進める。リース契約は２０年度から１０年間の予定。

２期目の１８～２０年度は小規模な出先機関、３期目の１９～２１年度は学校関係の建物、４期目の２０～２２年度は県庁本庁舎などで順次、ＬＥＤ灯への交換を進める。

環境エネルギー課によると、県有施設全体の電気代は推定で年間約８億９００万円掛かっている。ＬＥＤ化すると、２億６５００万円に抑えられるほか、電灯の交換費用も浮くため、総額で約７億３９００万円の経費削減になるという。（了）

（２０１７年２月１４日／官庁速報）

○長野県の財政状況資料集（２０１４年度）＝総務省

※本印刷物は時事通信社 iJAMPサービスから印刷されました。

Copyright JIJI PRESS Ltd. All Rights Reserved.